

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 30 年 4 月 4 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ム サデウナイカイ
牟佐町内会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名	「産地牟佐」にこだわった地域活性化
事業実施区域 (小学校区)	牟佐町内会 (牧石学区)
①事業実施内容	当初「産地牟佐」として期待していた自然の恵みのうち、入手困難であろうもので、活用できたのは、①シシ肉②イノシシと鹿の皮革③川ガニ④はちみつであった。多様な団体の皆さんとの協働により、豊かな自然と、その恵みを地域住民や子ども達に伝えていくためのイベントを開催し、世代を超えて地域住民の皆さんとともに「産地牟佐」のアイデンティティを醸成することができた。 具体的には、5月の文化祭会場では、十色に染められた地元産のイノシシや鹿の革を展示。夏休み(7月)には、子ども達を対象として、「牟佐っ子子ども教室」と銘打ち、午前中は、太戸の滝、旭川の渡場、大塚古墳、神社に伝わる文化財など、地域にある自然や歴史の資源に足を運び、昼食はイノシシ肉のたっぷり入ったジビエカレーに舌鼓を打ち、あわせて、地元産のはちみつの味を知ってもらい、午後は、地元産イノシシの革を使っのネームタグ作りに挑戦した。秋(11月)には大人たちが、午前と午後の2回に分けてレザークラフト教室を開催し、地元産イノシシの革を活用したオリジナルの小銭入れ作りを体験。もちろん、ジビエカレーも好評だった。冬(12月)にはもちつき大会を活用し、旬の川ガニ50匹の提供を受け、つみれ汁にいただいた。今春(3月)には、農水省が実施した表彰において、鳥獣被害対策の利活用部門で、牟佐町内会としての取り組みが評価され中四国農政局長賞を受賞させていただいた。
②解決を目指した課題	昨今、我が地域は、農家が積極的に黄ニラやバクチーを全国的に売り出し、大きな注目を浴びている。一方では、山と川に囲まれた豊かな自然があり、種々の自然資源が存在するが、今日では、ごく一部の人がそれらに関わるばかりで、一般の住民や子供達がそれらに直接触れる機会はほとんどない。その存在も、ましてやそれらが活用できる資源であることも知られていない。日常にある、あるいは身近にあることは知っていても、触れることがないために、その価値を知らない、わからない。しかし、これでは地域にとっては大変に残念なことと言わざるを得ない。

③ 目的・目標の達成状況	ほぼ、計画した通り、形にし、子ども達を含む地域住民と共有できた。 また、住民ボランティアで整備する「太戸の滝」を始めとして、イノシシの柵設置場所、大塚古墳、ミツバチの巣箱、旭川の渡場跡と集落に残る屋号、高月合同用水、神社に残る扁額（市重要文化財）など、地域にある自然や歴史の資源を学び合ったが、折しも、隣の町内となるが警察学校が、歴史をはじめとして地域のことを知ることが、県下に赴任していく警察官として非常に重要、有益であるとの認識から、イベントにも参加いただいた。地域の調査結果は、警察学校生徒により現年度分として取りまとめられ、発表会（歴史・農産物等）が開催された。これらは、翌年度に引き継がれ、新しい生徒によりさらに拡充されると聞いている。想定外の取り組みの展開が見られた一コマである。 さらに、図らずも、農林水産省が実施した鳥獣被害対策の表彰において、牟佐町内会が利活用部門で、中四国農政局長賞まで受賞することができた。このことは、区づくり推進事業があったからこそであり、この事業に背中を押していただいて取り組んだものである。心から感謝申し上げたい。 毎回のイベントでは、参加者アンケートを実施したが、世代を超えて圧倒的に評価する声をいただいたことは、企画が間違っていなかったと確信している。 ただ、盛りだくさんの企画でもあり、動画による記録やYouTubeへのアップはできていない。
④ 企画等の工夫と情報公開	そもそも有害とされ駆除されるイノシシ等の皮が活用されることはなかった。これらを貴重な資源として捉え、町内で捕獲されたイノシシやシカの皮をなめしていただいて、再び町内へ戻していただいた。これらを地元産の革として革製品に加工（ワークショップ）する取り組みを、世代を超えて行なった。これは、山陽新聞にも取材いただき記事にいただいた。この取り組みが、中四国農政局長賞を受賞できたことは、企画としてはあまり例のない町内会としての取り組みだったと思われる。さらに、初めての試みとして、町内で蜂蜜づくりに挑戦したが、自然界のミツバチをゲットしなければならぬ日本ミツバチでは叶わなかった。しかし、町内で西洋ミツバチの養蜂に取り組む方との出会いがあり、「産地牟佐」のはちみつをいただくことができた。たまたまに近いものだったが、諦めないでいたことが実現につながったものと思う。このことにより、自然資源がいかに身近に存在するかを知ることができた。 一連の取り組みは、新聞報道のほか、公民館だより等で紹介された。町内会としても、電子町内会ホームページ、フェイスブック、町内会新聞にて情報を発信できた。また、年度末に完成した「岡山市町内会ハンドブック」でも、町内会の取り組みとして紹介いただいた。 毎回のイベントでは、参加者アンケートを実施した。アンケートも一冊にまとめ、町内会総会や役員会議にて配布し、地元町内へ報告することができた。ただ、昨今、小学校PTAとの協議もする中で、写真一枚にも個人情報と言うことで気を使ったが、なんとか写真は撮影できた。ただ、動画の配信まではできなかった。

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
平成 29 年 3 月 4 日	町内会役員会議で、「産地牟佐」の区づくり推進事業への応募報告
平成 29 年 3 月 5 日	日本ミツバチの巣箱設置について、候補場所現地調査
平成 29 年 3 月 12 日	日本ミツバチをゲットするための巣箱設置完了
平成 29 年 4 月 9 日	「牟佐っ子子ども教室」準備会議
平成 29 年 5 月 13 日	町内会役員会議に「産地牟佐」区づくり推進事業の採用決定を報告
平成 29 年 5 月 19 日	町内会文化祭でのイノシシの皮革展示設営
平成 29 年 5 月 20 日	町内会文化祭でイノシシの皮革展示
平成 29 年 6 月 1 日	町内会新聞(第 29 号)にて、「産地牟佐」の区づくり推進事業についてお知らせ
平成 29 年 6 月 17 日	牟佐まちづくり協議会にて、岡山市区づくり推進事業『産地牟佐』にこだわった地域活性化について説明
平成 29 年 7 月 2 日	「牟佐っ子子ども教室」準備会議
平成 29 年 7 月 21 日	「牟佐っ子子ども教室」のウォーキングコース草刈り
平成 29 年 7 月 23 日	「牟佐っ子子ども教室」を 3 部構成で開催
平成 29 年 8 月 9 日	「牟佐っ子子ども教室」が山陽新聞に記事掲載
平成 29 年 9 月 2 日	大人を対象とした「レザークラフト教室」開催を協議
平成 29 年 10 月 28 日	産地牟佐「レザークラフト教室」準備会議
平成 29 年 11 月 12 日	産地牟佐「レザークラフト教室」開催
平成 29 年 12 月 4 日	農水省鳥獣被害対策優良活動表彰(利活用部門)に応募
平成 29 年 12 月 10 日	町内会もちつき大会にて、「産地牟佐」の①シシ肉入りシシ汁②川ガニのつみれ汁③はちみつを提供
平成 30 年 1 月 1 日	町内会新聞(第 30 号)にて、「産地牟佐」区づくり推進事業を紹介
平成 30 年 1 月 19 日	平成 30 年度区づくり推進事業(継続)に応募
平成 30 年 2 月 25 日	牟佐町内会通常総会にて、区づくり推進事業の報告およびアンケート結果の説明
平成 30 年 3 月 3 日	牟佐町内会役員会議にて、区づくり推進事業の報告およびアンケートの説明
平成 30 年 3 月 8 日	農水省より、鳥獣被害対策優良活動表彰(利活用部門)の受賞 授賞式後、会場にて受賞団体として事業説明

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	176,800	176,800	
負担金	44,200	56,842	
参加費		27,100	
寄付、他収入			
計	221,000	260,742	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	25,000	32,753	プリンターインク、消毒液 カレー用スプーン、皿
②食糧費	28,000	16,339	会議用お茶
③印刷製本費	20,000		
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	4,000	11,758	獣皮送料
⑦広告料			
⑧手数料		3,456	振込手数料
⑨使用料・賃借料	15,000		
⑩原材料費		43,894	レザークラフト材料 ジビエ料理材料
⑪委託料	84,000	118,760	なめし加工代 13 枚 皮はぎ代 14 枚
⑫工事請負費			
⑬報償費	15,000	31,832	ワークショップ講習料 謝礼 3 カ所
⑭保険料	30,000	1,950	7/23 ワークショップ参加者
⑮旅費			
計	221,000	260,742	